

桐生市長

荒 木 恵 司 様

令和 6 年度
当初予算要望書

桐 生 市 議 会

要 望 書

令和5年4月に執行された統一地方選挙において、22名の議員が市民からの直接選挙により選出され、第26期の桐生市議会は、令和5年5月2日から新たなスタートを切りました。

桐生市議会は、常日頃から議会及び議員としての職責を全うするため、市民と向き合う議会として様々な試みや取組（具体的には、本年1月に初めて開催した議員による出前講座、8月に3年ぶりに会場での開催となった全議員による議会報告会・意見交換会、また、日ごろの議員個々の活動等）を通して市民の皆様から貴重なご意見、ご要望を頂戴しております。本市議会としては、これらによって得られた市民の声を市政に反映できるよう、所管事務調査事項の研究を鋭意進めるとともに、個々の議員が市当局に対し様々な提案を一般質問の場で行うなど、多岐に渡る取組をしております。

さて、その取組の一つである当初予算要望ですが、本年5月以降、新たに委員構成された各常任委員会において、当初予算要望書を今年度も市長に対して提出することを議員の総意で決定し、常任委員会単位で3項目ずつ、真剣に議論を重ね、合計9項目の予算要望項目に絞り込みました。

令和6年度の当初予算編成に当たっては、新庁舎に関する計上が予想され、また、今後も厳しい財政状況が続くことは理解しておりますが、ポストコロナのこれからをどう乗り切るか、どうすれば成長できるか、議員個々が意見を出し合い、議論してできたこの要望書は、今後の本市の持続的発展や地域活性化等につながるものと理解していますので、是非とも御検討の上、当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。

令和5年9月20日

桐生市議会

議 長 人 見 武 男

令和6年度 桐生市議会当初予算要望事項

I 総務委員会

◎「SDGs未来都市」ならではの将来ビジョンを具体的に事業化すること

SDGs理念に沿った「ゆっくりズムのまち 桐生」の実現に向けて、その目指す姿とこれから取り組む指針の全市共有を図り、シティブランディングの向上にも繋がるオール桐生での機運を醸成していくと共に、経済・社会・環境の三側面において今回掲げた「新しい価値の創出」について具体的にその進捗を、着実に推進していくことを強く要望いたします。

◎DX事業の可能性を追求すること

社会全体のDX力を高め、誰もがデジタルの技術と利便性、その恩恵を、いつでもどこからでも活用・享受することができるよう、「産学民金官」での連携を裾野幅広く図ると共に、いくつかの自治体で試験導入されている生成AIの業務活用に関するリスクマネジメントの研究を通して、DXの可能性が「快適」・「安全」・「安心」な域内での日々の暮らしに貢献するツールのひとつとして、早期の定着と拡大を実現していくアイデアを創造・実行していくことを強く要望いたします。

◎投票率向上にむけて市民の立場に立った施策展開を図ること

有権者数の減少以上に、投票率の減少は顕著であり対策は急務であるため、投票率向上の具体策を検討すること。商業施設等への共通投票所や期日前投票所の設置、投票所等への移動支援や移動期日前投票所の実現の可能性を検証し、展開を図ることを強く要望いたします。

II 経済建設委員会

◎都市計画道路に関すること

桐生市における都市計画道路は、最大で約 80 年経過した現在でも未整備の路線・区間が多く残っている現状を踏まえ、令和元年に都市計画道路の見直し方針が策定され、第一段階として令和 2 年に一部路線の廃止が実施されたが、本市の人口減少や自動車交通量の減少といった社会情勢の変化を踏まえるなかで、更なる都市計画道路の見直しも含めた適正な都市計画道路の在り方に関する調査・研究の実施を強く要望いたします。

◎スマート農業に関すること

農業分野での担い手の減少・高齢化の進行等による労働力不足を解決する手段として、先端技術を導入したスマート農業の技術が急速に進展してきていることから、センサー技術や I C T 技術、ロボット技術等を活用したスマート農業の導入を目指す農家に向けた支援策の拡充を強く要望いたします。

◎特定技能を持った外国人材の確保に関すること

令和 5 年 6 月に特定技能制度の見直しが実施され、日本での永住が可能な「特定技能 2 号」の対象業種が拡大されたことは、桐生市における労働力確保の一助となることが期待されることから、市内企業が特定技能を持った外国人材を確保するための P R 活動への支援、および特定技能を持った外国人材とその帯同家族に対する生活支援を図ることを強く要望いたします。

Ⅲ 教育民生委員会

◎防犯対策に関すること

桐生市内において特殊詐欺（予兆電話を含む）や空き巣等の被害が多発しており、特に独り暮らし高齢者が非常に不安を抱えている状況にある。そこで防犯に関する自助力を高め安心して生活できるまちを推進する為、既存事業の拡充と防犯出前講座の受講を条件とした（仮称）住まいの防犯対策に対する補助事業の創設を図ることを強く要望いたします。

◎高齢者福祉に関すること

移動手段のない高齢者など、買い物等に悩みを抱えている地域住民に対し、買い物支援や配食代行サービス等の先進自治体が行っている事業を鋭意研究し、高齢者福祉を充実させるため桐生市独自の新規事業実施を図ることを強く要望いたします。

◎子育て支援に関すること

妊娠・出産から成人するまで切れ目のない子育て支援を行うにあたり 2023年6月に閣議決定された「こども未来戦略方針」の加速化プランを念頭に他市に劣らない事業の実施を図ることを強く要望いたします。